

○志望校・志望学部を決め方

私は今まで、自分の将来の夢ややりたいこと、興味のあることが何か分かりませんでした。そのため志望校どころか志望学部も決まらず、理系か文系か、物理か生物かはギリギリまで悩みました。私の場合、以前そろばんを習っていたため数字に抵抗がなかったこと、理系のほうが自分に合っているとなんとなく感じたこと、物理の方が選択肢が広がると思ったことでそれぞれ選択しました。また、幼少期から工作や折り紙など何かを自分で作り出すことが好きだったので、工学部を選択肢に入れました。その後は工学部や理系を志望する女子中高生向けのイベントに何度か参加したことで、大学で実験をさせていただいたり話を聞いて工学部の良さに気づき、工学部を志望するようになりました。

大切なのは、自分で情報を得て、実際に経験してみることです。インターネットで調べても、文章だけでは分からないことがたくさんあります。オープンキャンパスに行き、イベントに参加するなど実際に経験してみること、この学部に進んだら何をやるのか、本当に自分はそれをやりたいのかが少しずつわかってきます。私は先生にイベントが開催されることを教えていただいたので、先生方に相談してみてください！

○勉強のやり方

1, 2 年生の間は授業で学んだことを復習し、それを入試まで忘れないようにするのがよいと思います。定期考査後にその範囲を復習しないで放っておくと、あとあと大変になります。特に理科は数学や英語と比べて單元ごとにきっちり分かれているので、定期的に復習するのがおすすめです。また、問題を解いた後に解いて終わりではなく、その問題から何を得たのかを意識することが大切です。これはなかなか難しいのですが、やったときとやってないときでは増えた知識の量が全く違うように思います。あとは量をこなすことです。そして、英検を受験するのもおすすめです。英検を受験するメリットは、短期間で1つの目標となること、英作文の対策になることです。英検のおかげで英語を勉強する時間も増え、英語力向上につながったように思います。さらになかなかやる機会のない英作文も、1年生のうちから慣れておくことができました。

○最後に

私はこの受験を通して知識を得るだけではなく、家族や仲間、サポートしてくださる先生がいることのありがたさ、挑戦できる喜びを感じ、何度も自分と向き合いました。大学受験は長い道のりですが、いつか必ずやってよかったと思える日が来ます。とはいうものの、それを受験生活で感じられることはないかもしれません。つらくなったり壁にぶち当たったりすることがあると思います。そんなときはぜひ先生に頼って下さい。全力でサポートして下さいます。